

JSAF 派遣生みなさん、こんにちは。

季節の変わり目にもなりますが、体調を崩してはいませんか？

留学から 2, 3 ヶ月経ちますと、ふと気が緩んで、また蓄積された疲れもあって体調を崩す派遣生が多くなります。調子が悪いな…というときは、早めに休んだり、なるべく野菜やビタミンを多く取るようにしましょう。

それでは、メールマガジン第 6 号を送信します。

安否確認も兼ねていますので、毎回必ず最後まで確認の上、すぐに返信してください。

万が一、届いていないという派遣生は大至急 JSAF までお知らせください。

※返信時には、件名もしくはメールの最後に必ず派遣先大学名と氏名を記載すること

※【JSAF2015 年春・夏派遣生専用 Web ページ】<http://japanstudyabroad.org/Dispatch-student/>

○●○ ○●○

今週の目次

■1■今週の定期連絡【返信期限：6 月 22 日（月）】

□2□メール・携帯電話の確認

■3■学部での勉強法

□4□怪我・病気になった場合の対応

■5■注意喚起

□6□派遣生の皆さんからの近況報告紹介

「 ○●○

■1■今週の定期連絡：6 月 22 日（月）までに返信をお願いします

今回は、以下の内容を中心に近況をお知らせ下さい。

※返信時には、件名もしくはメールの最後に必ず派遣先大学名と氏名を記載して下さい。

1) 夏休みの予定【全派遣生対象】※未報告者のみ

夏休みの予定連絡がまだの方は、以下 5 点を必ず事前に JSAF に連絡して下さい。

緊急時に皆さんがどこにいるかわからないと、迅速なサポートができなくなってしまいます。

必ず事前報告を徹底してください。

1. 夏休みの予定、旅程

2. 旅行の場合、滞在先住所と連絡先（知り合いの家に滞在する場合はその人の名前を含む）

3. 同伴者

4. 保護者の同意を得ているか

5. 旅行の場合は詳しい旅程（飛行機/バスのスケジュールなど）

【例】8/25 500 Amtrack 8:30AM ポートランド-Union Station 発 同日 12:10 PM シアトル-King Street Station 着

2) 日本文化 VS 異文化【全派遣生対象】※現地に到着したばかりの派遣生は4)のみ回答してください。

皆さんは毎日の生活の中で、多種多様な異文化に触れていると思います。

その中で、「これは日本とは違う!」または「これは日本と同じだな。」と驚いたことや不思議に思ったこと、または戸惑ったことなどについて教えてください。

もちろん、その他気になることがあれば、あわせて教えてください。

3) 来学期の履修科目について教えてください。【学部履修予定で未報告者対象】

※履修科目の報告は、科目番号/科目名/単位数/のように報告してください。

4) 最新スコア・成績結果について【語学研修中で結果が発表された派遣生対象】

TOEFL/IELTS など試験日程・スコアが発表された方は必ず報告してください(受験日、スコア結果、内訳の詳細含む)。  
また、イギリス、ニュージーランドなど、来学期学部履修のため、現在語学研修プログラム修了を目指している方は、  
期末成績が出たら速やかに報告してください。

今学期、学部授業履修中の派遣生は、成績・履修登録の報告は、科目番号/科目名/単位数/成績/のように報告してください。

例: INTL201/International Relations/4 単位/B (成績が分かる場合)



## ■2■ メール・携帯電話の確認

皆さんは、一日に何回メールや携帯電話を確認しますか。

緊急時には、必ずこの2つが連絡手段になるわけですが、

必要があってこちらから連絡をしてみると、まったくつながらない…という状況が多々発生しています。

時差もあるため、連絡が取れない時間が長ければ長いほど、対応が1日2日とどんどん遅くなってしまいます。

皆さんが適切なサポートを受けるために、下記について今一度確認してください。

### 【メール】

このメールマガジンを受け取っているメールだけでなく、派遣先大学から届くメールもこまめに確認していますか。

派遣先大学から重要なお知らせが来ていることは多々ありますので、1日1回、最低でも2日に1回は必ず両方確認してください。

### 【海外携帯電話】

海外携帯電話を常に持ち歩いているかと思いますが、留守番電話の設定はしていますか。していない方は必ず設定しましょう。

こちらから電話をかけて万が一繋がらない場合、メッセージを残したくても設定されていなければできません。  
見慣れない番号からかかってきたら、かけ直さない方も多いはずです。  
オリエンテーションでもお伝えしましたが、必ず日本からの連絡を受けらることができる状態にしてください。

メールおよび携帯電話にかけても連絡が取れない場合、必要に応じて現地大学スタッフ、親御さん、そして日本の大学に連絡します。

無用な心配をかけない為にも、必ずすぐに連絡がつく状態にしておいてください。

※電話番号が変わったという派遣生は、速やかに新しい番号をお知らせください。



### ■3■学部での勉強法【学部履修生対象】

今学期から学部授業をスタートをした派遣生もありますが、  
現在学部授業を履修している派遣生の皆さんは、学部での授業の受け方について JSAF ハンドブックを見直してみましたか？

日本と海外での大学では、授業の進み方や評価の仕方が異なります。それに合わせて勉強方法を変えていく必要もあるでしょう。

特に、現地の学生ですら予習・復習に通常2～3時間程かかりますので、派遣生の皆さんはその2倍、3倍の努力をしなければなりません。

ただ、やみくもにやっても成績はついてきません。一部にはなりますが、下記のポイントをおさえると良いでしょう。

#### ①シラバスを確認する

どのクラスでも最初の授業の時にシラバスが配られます。そこにはテストやレポートの日程・回数、評価方法など重要な情報が満載です。

先に手帳などにテストやレポート日程を書いておくと、例えば大きなテストが2つ重なってしまった場合でも、事前に把握していれば、余裕を持って準備を始めることができます。

#### ②ノートをとる

これは英語でも日本語でも構いません。とにかく聞き取れたことはすぐメモをするようにしましょう。

クラスによっては板書をほとんどせず、全て口頭で行う場合もあります。そうすると、テストの時に活用できるのがそのノートです。

意味がわからない単語があれば、なんとなくひらがなやカタカナで書いておけば  
後で調べることもできます。また、教授に質問する時もそのノートがあるととても便利です。

#### ③予習・復習をする

ほとんどの授業では、事前にリーディング課題があり、それを読んで理解していることが前提で授業が進みます。

既にコツをつかんでいる方もいるかと思いますが、一日何十ページも読まなければならないため、わからない単語を1つ1つ調べている時間はありません。

まずは、与えられたページを大まかに読み、大体の内容・流れを把握し、細かい部分は時間があれば調べてみましょう。

そのテーマに関連した日本語の記事を読むことも、授業を理解する上では役に立つこともあるでしょう。

#### ④教授に相談する

海外の大学では、学生は教授と密にコミュニケーションを取ります。

分からない所があればもちろん確認しに行きますし、困ったことがあれば相談することも多いです。

教授との関係性も非常に重要になりますので、新しいクラスになったらまずは名前と顔を覚えてもらえるように、積極的にコミュニケーションを取るようにしましょう！

以上学部での勉強方法の一部を紹介しました。

まだまだポイントはたくさんありますので、JSAF ハンドブックも確認してみましょう！



### ■4■怪我・病気になった場合の対応

冒頭でも触れましたが、怪我・病気にかかり、治療を受けたという報告を聞くことが多くなりました。

怪我や病気をした時にはやはり慌ててしまうものですが、ここで一度流れを確認しておきたいと思います。

#### 【学内で怪我・病気をした場合】

①まずは、学内のヘルスセンターにかかりましょう。

緊急時にすぐに連絡が取れるよう、あらかじめ連絡先、場所、空いている時間等を確認しておきましょう。

②治療を受けたら、支払いがあります。その場で支払うか、Student Account にチャージしてもらうか、主にこの2つの方法があります。

どちらを選択していただいても構いませんが、どちらの場合も治療を受けたら、まずは加入している保険会社のアシスタントセンターに連絡しましょう。

派遣先大学の保険にも加入している場合はこちらにも連絡して、支払いに関して指示を仰いでください。

あとから支払った分をカバーしてもらえるように、領収書等は必ず控えておいてください。

#### 【学外で怪我・病気をした場合】

①まずは最寄りの病院に向かいましょう。

軽傷の場合は、先に加入している保険会社に連絡をして、最寄にその保険が適用される病院があるかどうか確認してもらいましょう。

②治療を受けたら、後日保険会社に連絡をしましょう。

#### 【学外で怪我・病気をした場合でなおかつ緊急性の高い場合】

急激かつ偶発的な外来の事故または通算して3日以上入院を必要とする重傷病が予想される場合など特に緊急性が高い場合は、

第一報告…「アイラック安心サポートデスク」へ連絡し指示を受ける

第二報告…AIU アシスタントセンターまたは加入している保険のアシスタントセンターに連絡

第三報告…JSAF・親御さんに連絡

何もないのが一番ですが、緊急事態が発生した場合に、迅速な対応が取れるように再度流れを確認しておきましょう。  
自分で連絡できない場合も考えて、必ず緊急連絡カードは常時持ち歩いてください。

---

●○○●

## ■5■注意喚起

先週水曜日および金曜日、アメリカ・ニューヨーク（マンハッタン）にて、3件の暴行事件が発生しました。  
いずれの事件も被害者はアジア系の女性で、現在は病院で手当てを受けているそうです。

出発前のオリエンテーションでもお伝えしましたが、今一度危機管理を徹底しましょう。

「自分の周りは大丈夫」「のんびりした街だから日本みたいに安全」というちょっとした気の緩みが事故・事件につながりかねません。

また、休み期間を使ってニューヨーク旅行をする派遣生は事件のあった通りには近付かないようにしましょう。  
該当地域に当てはまらない派遣生も、夜は一人で出歩かない、人通りの少ない道は避けるなど、

【自分の身は自分で守る】ことを再度意識して行動してください。JSAF Student Handbook の P16 を改めて読んでおきましょう。

---

●○○●

## ■6■派遣生の皆さんからの近況報告紹介

前回の定期報告では、【授業の内容・難易度】について皆さんに報告してもらいました。  
その一部をご紹介します。

### ●ニュージーランド/オークランド大学派遣生

授業はリスニングやライティングを中心に行っています。リーディングは宿題で補っています。

授業よりも、research essay の課題が大変でしたが、計画的に行っていたので、直前にドタバタすることなく、提出できました。

### ●アメリカ/インディアナ州立大学派遣生

Communication Skills のクラスはプレゼンやリスニング、ノートテイキングをやりました。

決して簡単ではなく、最初はノートテイキングのやり方など全くわかっていなかったのですが、モデルを見せてもらったり回数を重ねることで徐々に慣れていきました。

最終プレゼンは15分程度のグループプレゼンテーションで、ISUの学生、先生や関係者向けサービスや商品を考え広告するという advertise campaign というものでした。

メンバーと協力して満足のいくものができたと思います。

### ●アメリカ/カリフォルニア州立大学サンバナーディーノ派遣生（学部履修生）

Communication のクラスは先生が話すのがとても早くて何を言っているのか一瞬遅れてしまうので、反応が遅くなってしまうします。

しかし先生が例をたくさん話ししてくれるので、それで大変助かっています。3つのスピーチを授業内では行い、先生や大学院生（TA）がスライドを用意して授業を進めます。

先生も TA もとても優しいので、相談しやすい環境です。私は人前でスピーチすることが大の苦手なので、何度もひとりで練習したり、友人に OUTLINE を見てもらったりして準備しています。難易度はそこまで難しくはありませんが、リサーチなど一生懸命に取り込まなければなりません。

#### ●アメリカ/オレゴン大学派遣生（学部履修生）

ビジネスのクラスは、クイズが少し難しいです。まだ問題を見てすぐに理解できないので、時間制限があると、答えるのに間に合わない時があり、悔しいです。

しかし、以前よりも効率良く勉強できるようになった分の時間を予習に充てると、クラス内クイズも少しずつポイントを掴めるようになりました。

というのも以前は間違えた問題に対して、どうして間違えたのかを理解できないまま進めてしまっていたのですが、最近ではコンセプトを理解し、間違えた問題に対してもその場で消化出来るようになりました。

#### ●ドイツ/SRH ハイデルベルク大学派遣生

ドイツでの生活には慣れドイツ語も徐々に伸びています。先日から大学での授業が始まりました。

私が日程を勘違いして少し授業に遅れをとってしまいましたが、教授に個人的に質問に行ったり個別にテストを受けさせてもらうなどして追いつこうとしています。

SRH ではアジアの学生はほとんど見ませんが、こじんまりとしていて人々の雰囲気もとても良いです。

#### ●アメリカ/モンタナ大学派遣生

モンタナに来て最初の方の授業は Listening や Reading が中心の授業でしたが、4 月の終わりから 5 月にかけてはプレゼンやエッセイを書くなどの実践的な授業が増えてきたように思います。

すべて英語なので難しく感じることも多かったですが、時間をかけてしっかり準備すれば特に問題はなかったと思います。

レベル的にもちょうどよく自分の英語力を高めることができ、積極的に授業に参加するという姿勢なども身につけられたと思います。

皆さんからの定期報告を見ると、

「難しい」「大変」、しかし「頑張っています!」「理解できるようになりました!」と、奮闘している様子が伺えます。

授業に慣れてきても、プレゼンやグループワークなど新たな試練が次から次と出てきますので、なかなかのんびりする時間がない派遣生も多いと思います。

ただ、だからこそ、成長できる機会でもありますし、苦労した分は必ず皆さんにプラスになって帰ってきます。

また、周りの声にも耳を傾けたり、どうしても困った時は一人で抱え込まず、ヘルプを出しましょう!

自分でできることはもちろんやってほしいのですが、助言を求めることは決して悪い事ではありません。

むしろ、周りの方の意見を取り入れることで、より効率良く勉強することができるようになり、新しい発見もあります。

それでは、みなさんからの報告をお待ちしております。

\*\*\*\*\*

一般財団法人 JSAF

Global Academic Education

日本スタディ・アブロード・ファンデーション

JSAF サポート：吉岡/宮元/伊藤/吉田/尾崎

[support@japanstudyabroad.org](mailto:support@japanstudyabroad.org)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-4-15 三井生命高田馬場ビル 1F

TEL : 03-5287-2941

FAX : 03-5287-2943

web : [www.japanstudyabroad.org](http://www.japanstudyabroad.org)

\*\*\*\*\*

【お願い】 JSAF にご連絡の際は、件名に必ず「お名前」をお書きください。